

「中小企業デジタル導入加速化補助金」 デジタルツール活用事例のご紹介

AI導入支援プログラム
島根創生
SHIMANE SOUSAI
島根創生 実現します。

■ 取組事例のご紹介

社名 株式会社長岡塗装店
所在地 島根県松江市西嫁島1丁目2番14号
代表者 代表取締役社長 古志野 功
補助事業担当者 取締役 システム企画室長 長岡 望



・補助事業名

外壁劣化調査における熱画像解析およびひび割れ解析の効率化

・補助事業に取り組み始めたきっかけ

赤外線カメラを搭載したドローンを用いて外壁調査を行う際に、お客様から指定箇所の調査状況の報告を現場で求められますが、撮影データをAIシステムへ送信し、1～2週間の解析期間を経ないと報告ができません。

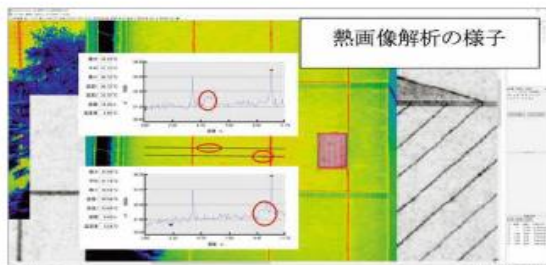
また、その場で調査結果を知るためには高所作業車のリース代や調査員労務費が発生してしまいます。そこで、ドローンによって撮影した赤外線および可視画像を現場で解析できるソフトを新たに導入することで、即時に解析・報告できる仕組みを構築し、顧客ニーズに素早く対応できるようにするために本補助事業に取り組みました。

・補助事業で導入したITツール

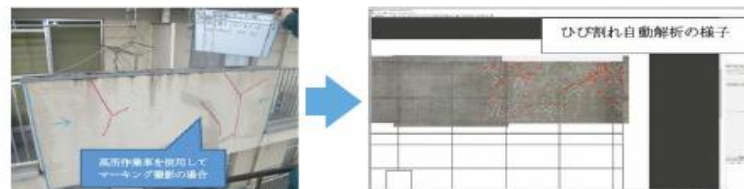
「Kuraves-Ultimate」(ひび割れ抽出・解析ソフト、赤外線診断ソフトをセットにしたソフト)

・補助事業による成果

熱画像解析では、「Kuraves-Ultimate」(以下、ソフトウェア)を導入したことで、赤外線カメラにて撮影した熱画像データを即時解析できるようになりました。本ソフトウェアには、熱画像中の温度変化をグラフで表示する、丸で囲むなどの機能を備えており、それらの編集データをそのまま報告書へ転載することもできます。



ひび割れ解析については、本ソフトウェアの導入によって、デジタルカメラで撮影した画像データから自動的にひび割れを検出することが可能になり、これによって、高所作業車などを使用して外壁のひび割れ箇所をマーキングして撮影するといった従来の運用から大幅な省力化を実現しました。



建物を地上から撮影した場合には、写真に「あおり」(遠近感による被写体のゆがみ)が生じます。本ソフトウェアには、この「あおり」を補正する機能が備わっており、撮影した写真を「あおり」補正したうえで図面に重ねることができるようになりました。これにより、熱画像やひび割れを解析した画像を直接図面に貼り付けることができるため、図面にひび割れや外壁補修が必要な箇所を再度プロットする手間がなくなりました。

